

検出された医薬品成分

○ 緩和な酸性条件下でメチソシルデナフィルを生じる物質

今回検出された成分は、緩和な酸性条件下でメチソシルデナフィルを生じるため、服用した場合、体内でも同様の現象が起こることが考えられ、健康被害が発生するおそれが否定できない。

メチソシルデナフィル

国内外で医薬品としては承認されていないが、シルデナフィルと類似の化学構造を有する物質であり、類似の作用を有することが考えられ、健康被害が発生するおそれが否定できない。

シルデナフィル

国内ではシルデナフィルのクエン酸塩（シルデナフィルクエン酸塩）が医薬品（販売名：バイアグラ錠）として承認されている。通常1日1回シルデナフィルとして25mg～50mgを用いる。

承認されているシルデナフィルクエン酸塩の適応と主な副作用は、次のとおり。

【適 応】

勃起不全

【副作用】

血管拡張（ほてり、潮紅）、頭痛、動悸等

【添付文書上の警告（抜粋）】

- (1) 硝酸剤あるいは一酸化窒素（NO）供与剤（ニトログリセリン、亜硝酸アミル、硝酸イソソルビド等）との併用により降圧作用が増強し、過度に血圧を下降させることがあるので十分注意すること。
- (2) 死亡例を含む心筋梗塞等の重篤な心血管系等の有害事象が報告されているので、本剤投与の前に、心血管系障害の有無等を十分確認すること。

（参考）

硝酸剤や一酸化窒素（NO）供与剤は、高血圧や狭心症の治療に用いられる。